

社会資本整備総合交付金事業  
主要地方道天理王寺線 長楽工区

奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料



### 事業評価項目一覧表

<b>事業名</b>	社会資本整備総合交付金事業	<b>事業主体</b>	奈良県
<b>河川・道路名等</b>	(主) 天理王寺線	<b>事業箇所</b>	長楽工区
<b>評価項目及び評価内容</b>			
<b>事業の目的及び必要性</b>			
<input type="checkbox"/> <b>目的</b> ・骨格幹線道路ネットワークの形成、地域活性化の支援、交通安全性の向上。			
<input type="checkbox"/> <b>必要性</b> ・東西方向の骨格幹線道路ネットワークが形成され、地域内を通過する交通の機能分担。物流効率化、企業立地の促進が期待される。(資料 p. 2, 5, 7～10)			
<b>事業策定の経緯</b>			
<input type="checkbox"/> <b>当時の状況</b> ・周辺には工業団地が複数立地しているが、狭隘区間により、東西のネットワークが寸断。			
<input type="checkbox"/> <b>着手までの経緯</b> 平成22年に都市計画決定、平成22年事業着手 (資料 p. 4～6)			
<b>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</b>			
<input type="checkbox"/> 計画時の効果 ・ B/C = 2.2			
<input type="checkbox"/> 現時点の効果 ・ B/C = 2.2 (資料 p. 11)			
<b>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</b>			
<input type="checkbox"/> <b>進捗状況</b> ・京奈和自動車道一般部の延伸により交通需要が増大している。 事業進捗率：5%			
<input type="checkbox"/> <b>執行の遅延及び原因</b> ・執行の遅延は発生していない (資料 p. 13)			
<b>事業進捗の見込み</b>			
<input type="checkbox"/> <b>進捗の対策</b> ・道路事業の推進について地域住民に概ね了解を得ている。工区東側を中心に順調に用地交渉が進展している。			
<input type="checkbox"/> <b>進捗の見込み</b> ・引き続き用地買収を推進し、平成 28 年度から曾我川橋梁工事に着手できる見込み。(資料 p. 13, 15)			
<b>事業の対策</b>			
東西方向の骨格幹線道路ネットワークの形成としての事業効果を発現させるため早期の供用を目指す。通過交通の転換による交通安全性の向上を目指す。 (資料 p. 15)			
<b>その他</b>			
<input type="checkbox"/> <b>関係機関等の意向</b> 河合町都市計画マスタープランにおいて町内における地域幹線道路に位置づけられている。 (資料 p. 12)			

平成27年度 第1回 奈良県公共事業評価監視委員会

主要地方道 てんりおうじせん 天理王寺線  
ちょうらく 長楽工区

平成27年11月

奈良県県土マネジメント部道路建設課

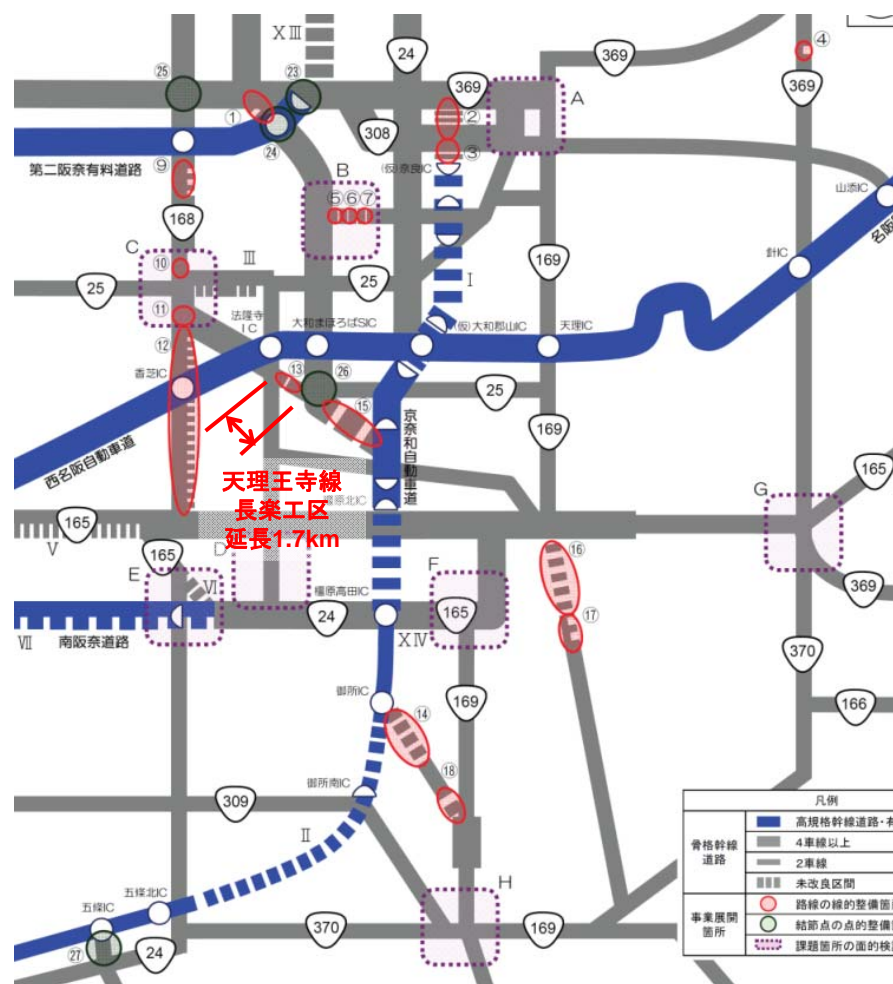
# 目 次

1. 路線の状況
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
4. 事業の進捗の見込みの視点
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の  
良好な公共サービス提供の視点
6. 対応方針(案)

# 1. 路線の状況(骨格幹線道路ネットワーク)

- ・天理王寺線長楽工区は、天理王寺線の唯一の未改良区間を解消する延長1.7kmのバイパス道路を整備するものである。
- ・本工区は奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)において、骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として重点的な整備を推進する路線に位置づけられている。

## 骨格幹線ネットワーク (大和平野部)



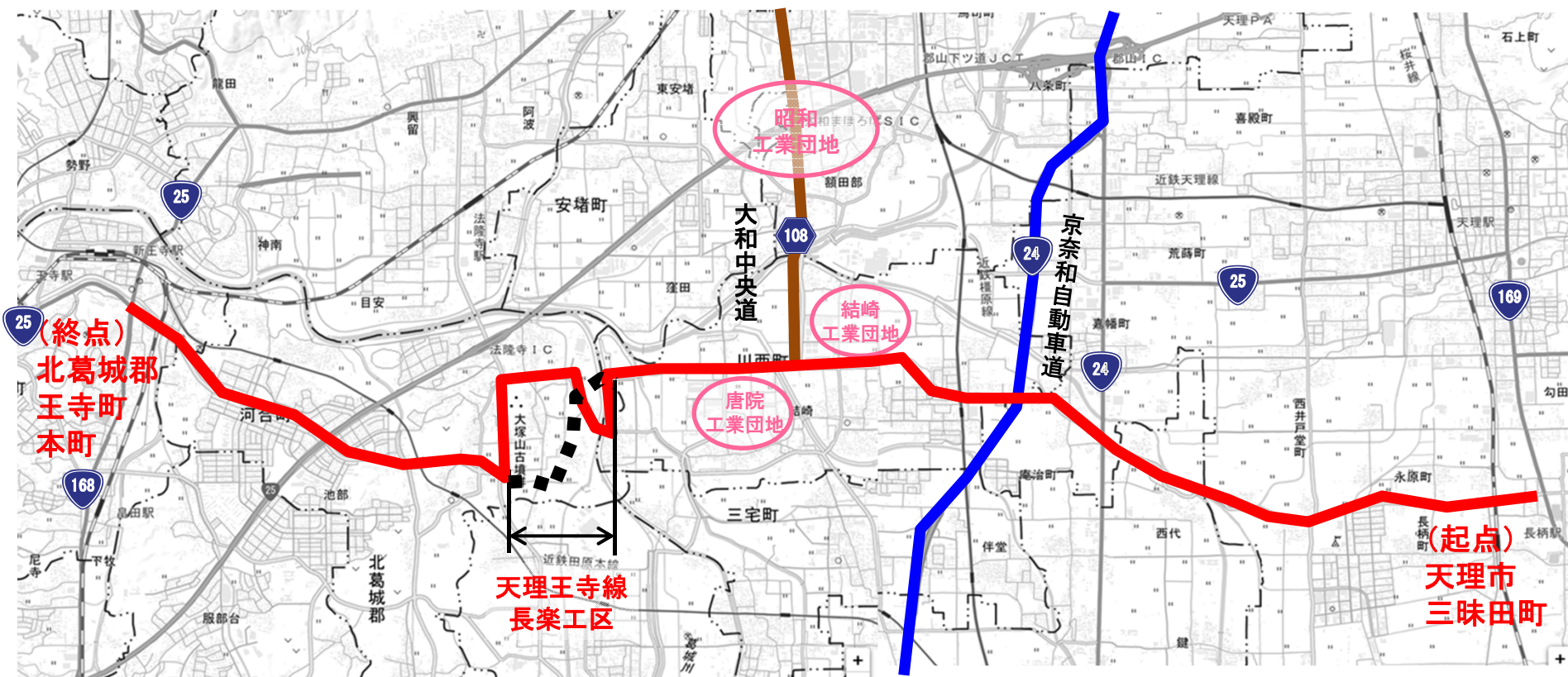
凡例	
骨格幹線道路	高規格幹線道路・有料道路
	4車線以上
	2車線
事業展開箇所	未改良区間
	路線の線的整備箇所
	結節点の点的整備箇所
	課題箇所の面的検討箇所

※各路線については、事業中箇所の事業進捗を見込んだ概ね10年後の姿を表記。  
 ※県以外が事業主体となる路線のうち、事業方針が明らかにされていない区間については、点線で表記。 出典: 奈良県道路整備基本計画

# 1. 路線の状況

- ・天理王寺線は、天理市三昧田町を起点とし、北葛城郡王寺町本町に至る延長約16kmの主要地方道。
- ・国道24号や京奈和自動車道、大和中央道、国道25号と接続する道路であり、日常生活や産業活動を支えるうえで欠くことのできない道路。

## 天理王寺線



# 1. 路線の状況(周辺の状況)

- ・周辺には昭和工業団地、結崎工業団地、唐院工業団地が立地しており、事業区間と並行して大型の機械製造工場(ヒラノテクシード)がある。
- ・狭隘区間により、東西のネットワークが寸断されている。

## ◆事業区間位置図

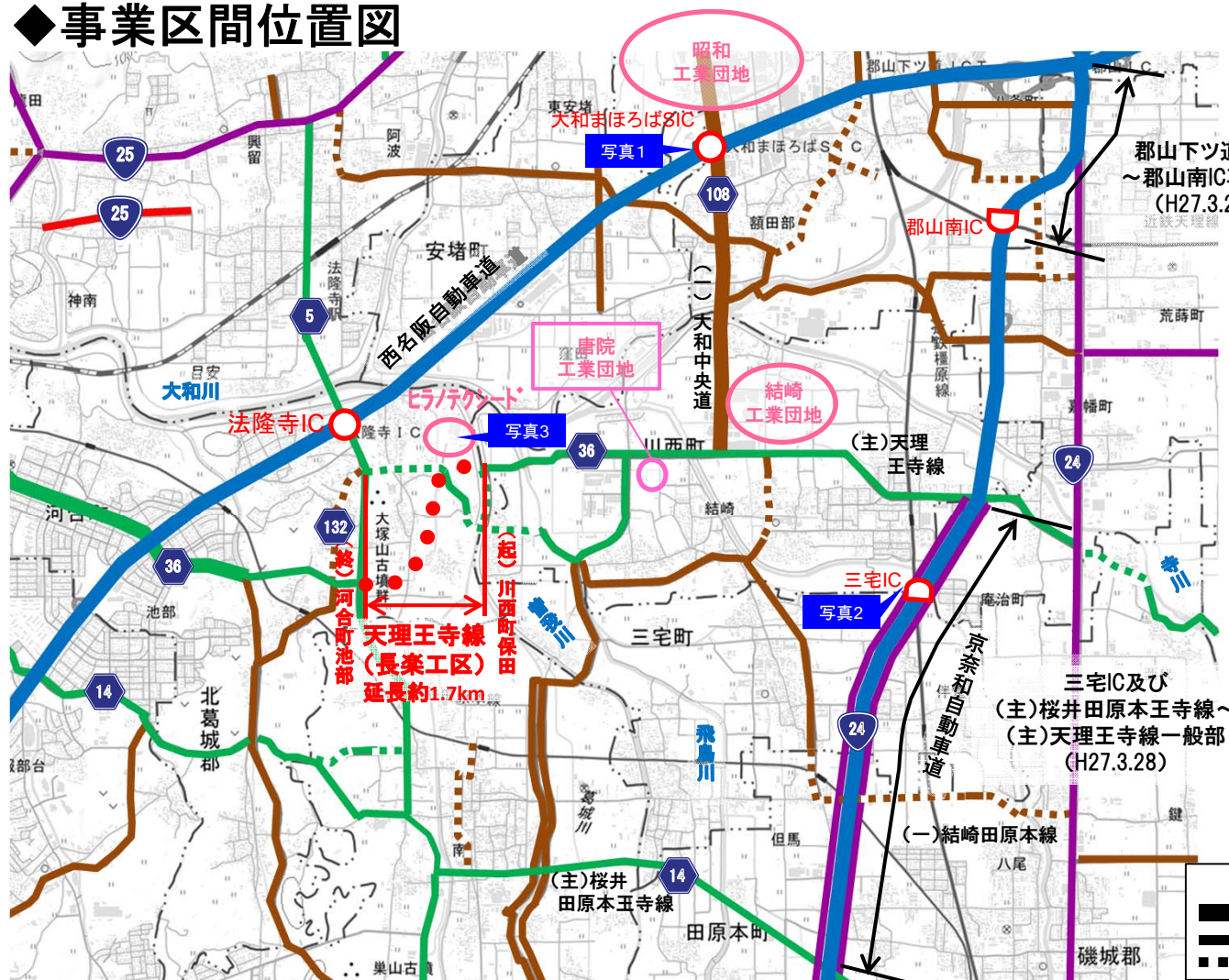


写真1 大和まほろばSIC (H26.3)



写真2 京奈和自動車道 三宅IC(H27.3)



写真3 ヒラノテクシード

凡 例	
	4車線
	2・3車線
	2車線未満

凡 例	
	高速自動車国道
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道



## 2. 事業の概要

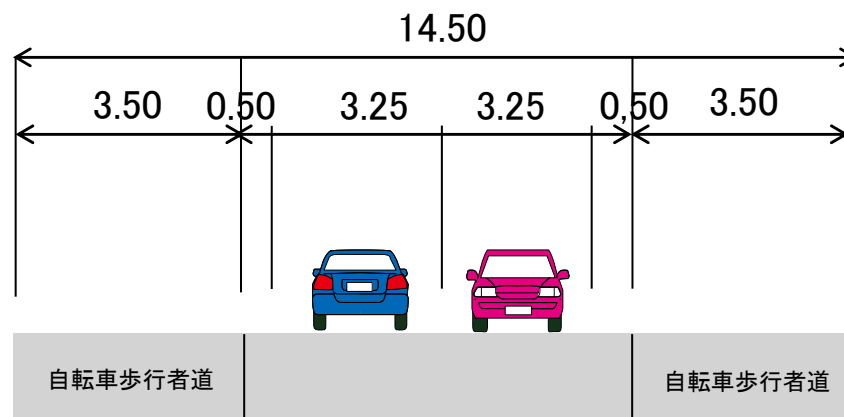
### ◆事業の目的

- ・骨格幹線道路ネットワークの形成
- ・地域活性化の支援
- ・交通安全性の向上

### ◆事業概要、進捗状況

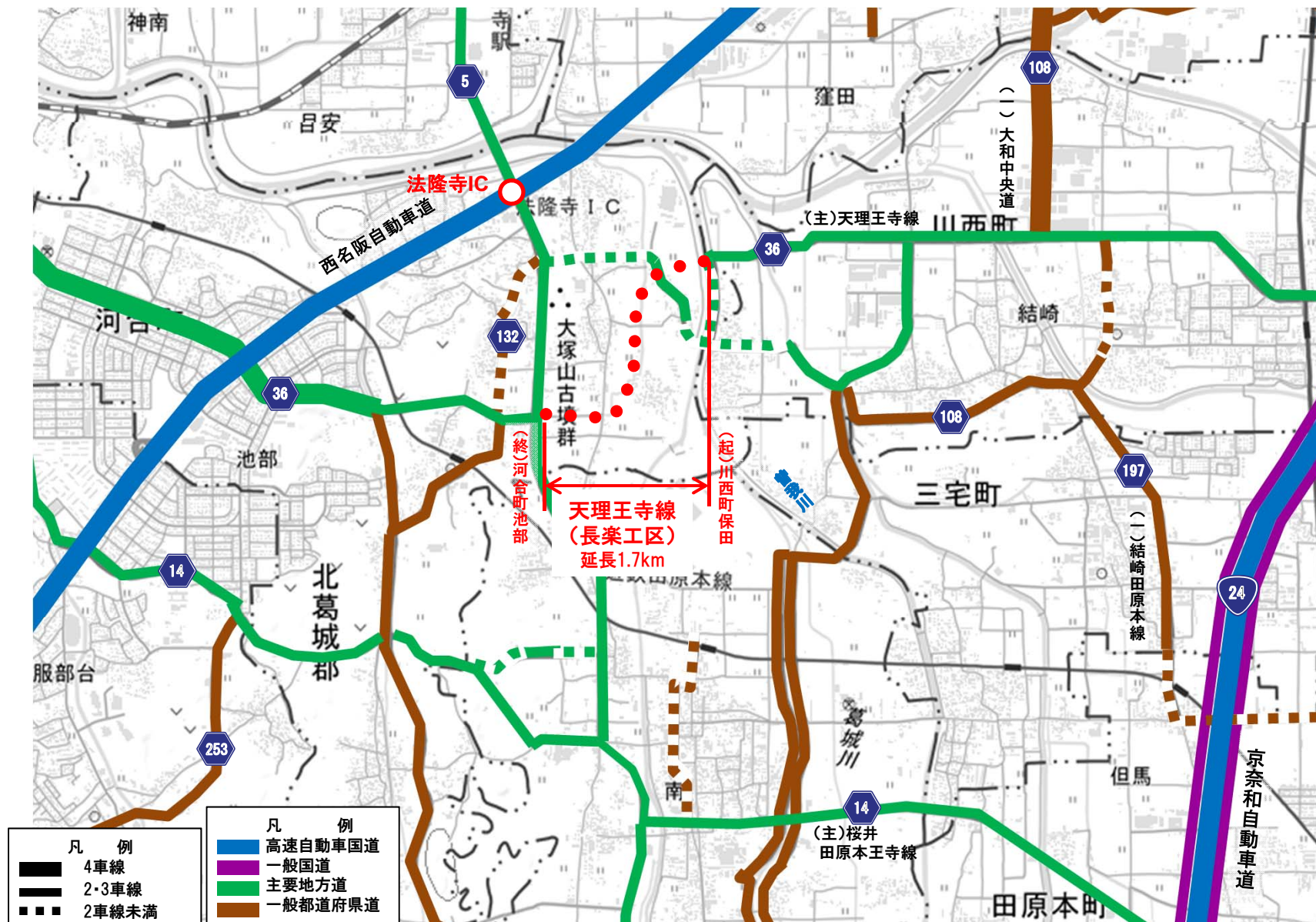
路線名	主要地方道 天理王寺線(長楽工区)
事業区間	北葛城郡河合町池部～川西町保田
事業延長	1.7km
構造規格	第3種第2級
設計速度	50km/h
車線数	2車線
道路幅員	14.5m
事業費	全体事業費27億円
事業の経緯	昭和40年 都市計画決定
	平成22年 都市計画変更(長楽工区追加)
	平成22年度 事業着手

### ◆標準断面図



## 2. 事業の概要(計画平面図)

### ◆事業区間計画図

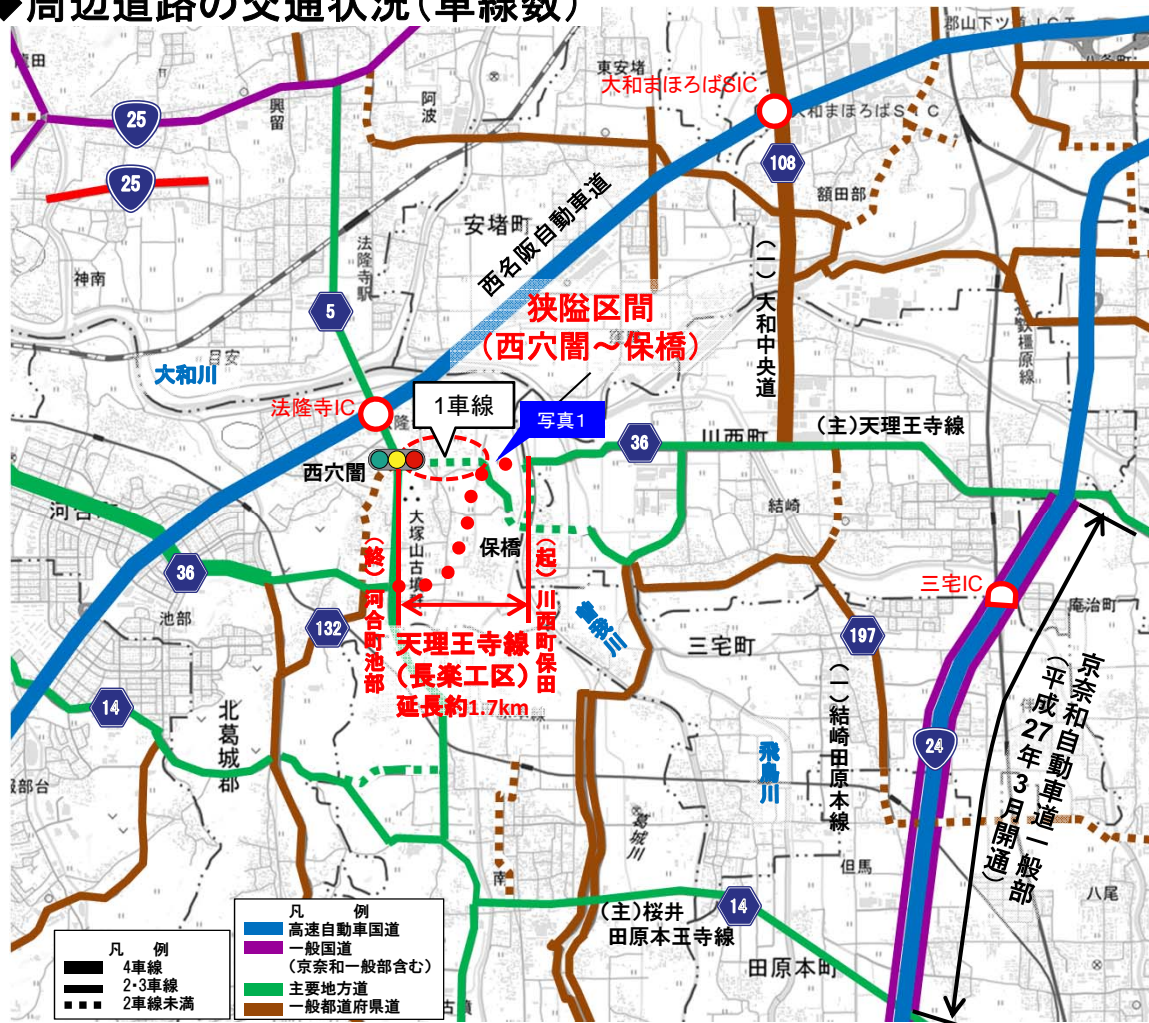


# 3. 事業の必要性等に関する視点

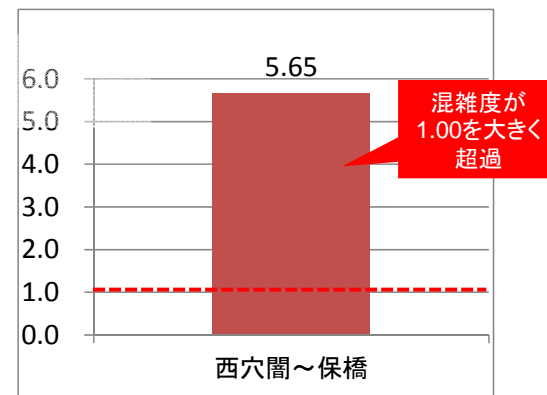
## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 京奈和自動車道一般部が天理王寺線まで延伸され(H27.3)、交通需要が増大しさらに重要性が増している。
- 当該路線の現道の西穴闇～保橋の混雑度が1.0を大幅に超過。

### ◆周辺道路の交通状況(車線数)



### ◆現道狭隘区間(西穴闇～保橋)の混雑度



出典: H22道路交通センサス



写真1 狭隘区間(西穴闇～保橋)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 2) 事業の整備効果【骨格幹線道路ネットワークの形成】

- 天理王寺線現道は周辺工場や住宅地からの通勤交通で朝夕の交通量が多い(ピーク時間交通量367台/時(7時台))。また、狭隘区間があり、離合困難箇所も存在。
- 当該路線の整備により、東西方向の幹線道路ネットワークが形成され、地域内を通過する交通の機能分担が期待される。

### ◆周辺道路網の状況



写真1 朝ピーク時に渋滞

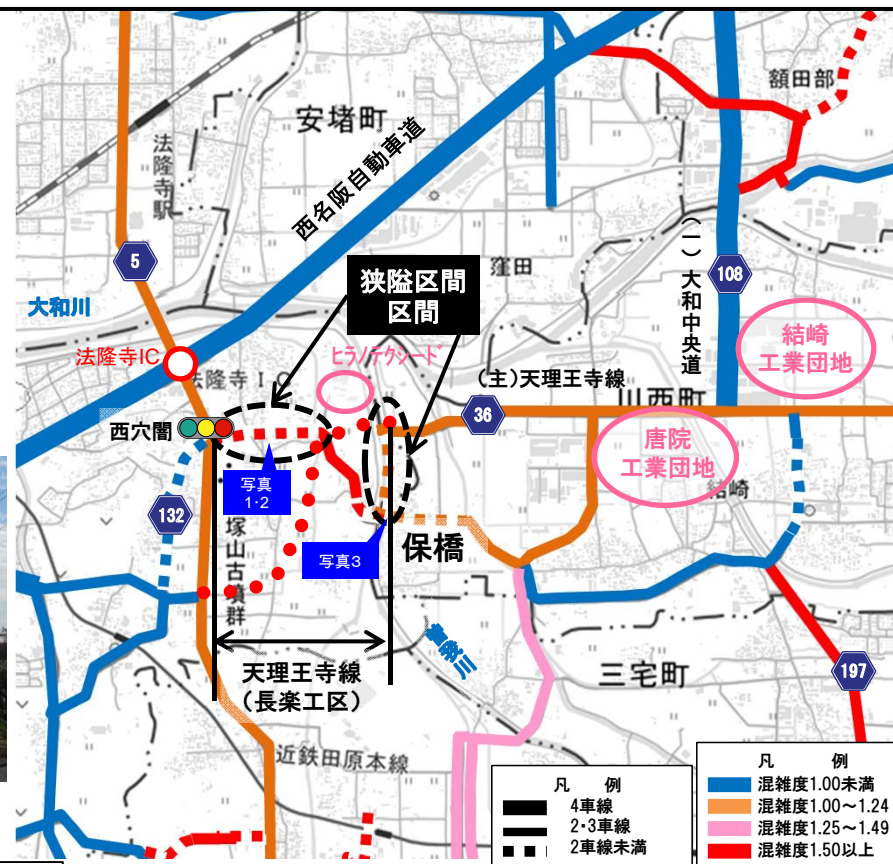


写真2 狭幅員区間で離合困難



写真3 保橋

曾我川兩岸地域を結ぶ橋梁は幅員が狭小な保橋W=4.5mのみ



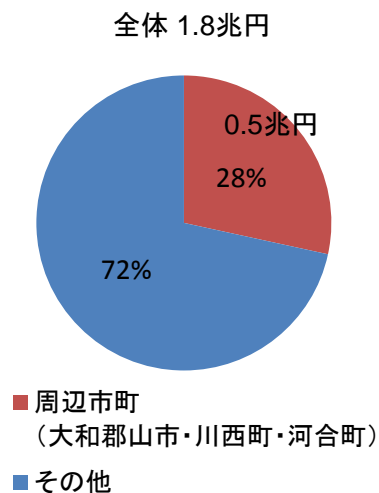
出典: H22道路交通センサス

# 3. 事業の必要性等に関する視点

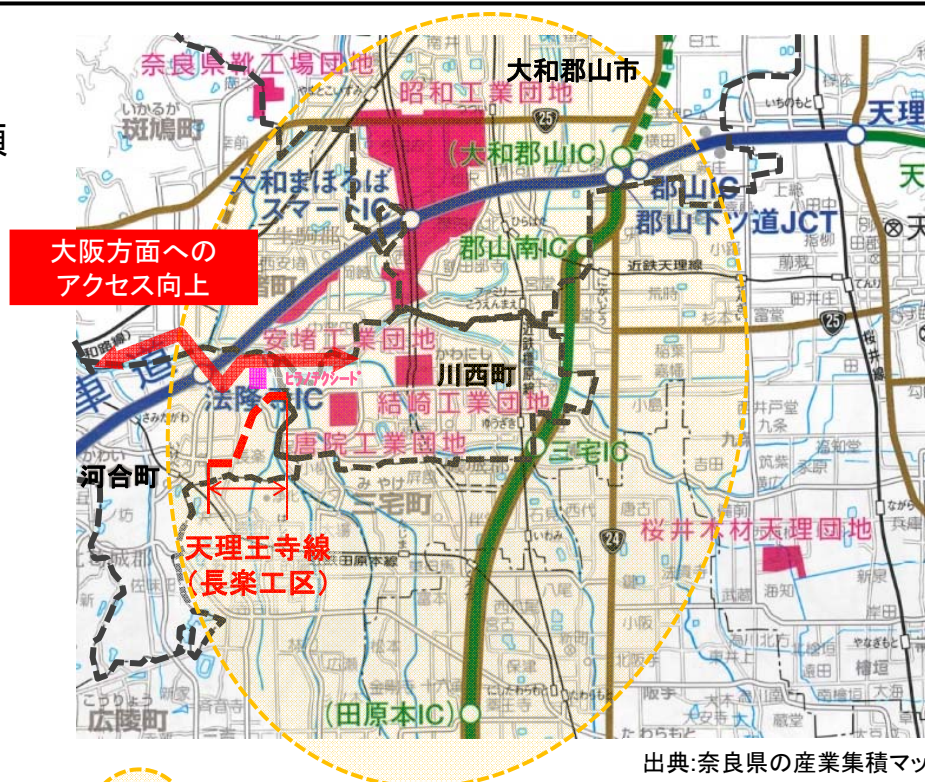
## 2) 事業の整備効果【地域活性化の支援】

- 工業団地を有する周辺市町(河合町・川西町・大和郡山市)の製造品出荷額は、奈良県全体の約3割。
- 周辺に立地する工業団地から県西部及び大阪方面への大型車交通が約3割を占め、当該路線の整備により、物流効率化、企業立地の促進が期待される。
- 県では、経済活性化及び雇用の場の確保を図るため、工業ゾーン候補地の検討を実施。

◆周辺市町の製造品出荷額



出典:工業統計調査H25

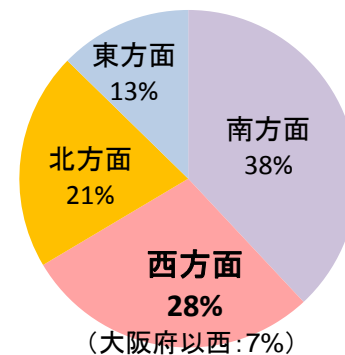


○:工業ゾーン候補地の検討エリア

京奈和自動車道の郡山下っ道JCT～(仮称)田原本ICの周辺  
西名阪自動車道の大和まほろばSIC～天理ICの周辺

◆周辺市町(河合町・川西町・大和郡山市)の大型車OD

N=58,469  
(地域内々を除く)



西方面:県西部(香芝市、斑鳩町、上牧町、安堵町、生駒市、王寺町、その他県西部)及び大阪府以西

南方面:県南部及び和歌山県

北方面:県北部及び京都府、滋賀県

東方面:県東部及び三重県以東

出典:H22道路交通センサスOD

# 3. 事業の必要性等に関する視点

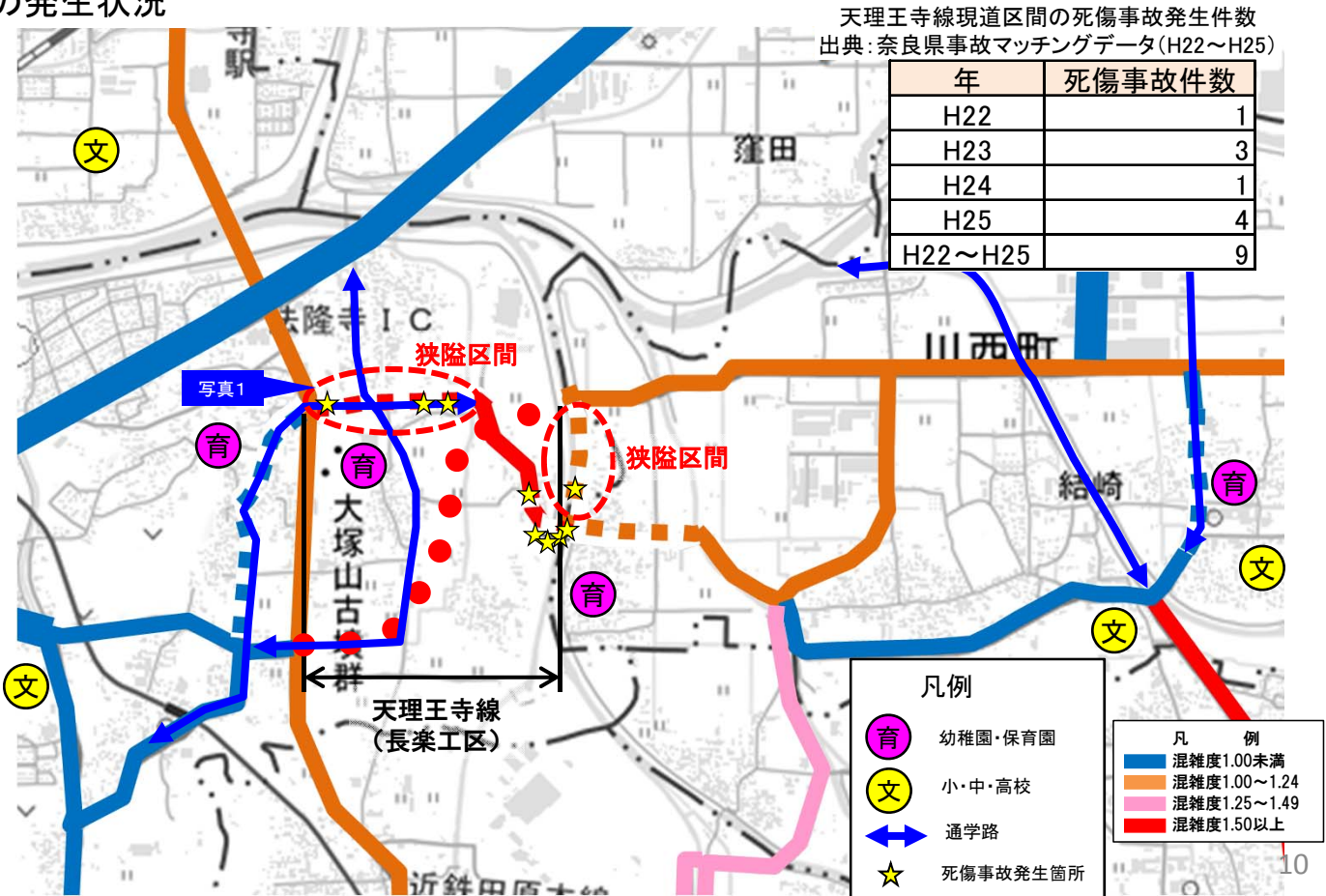
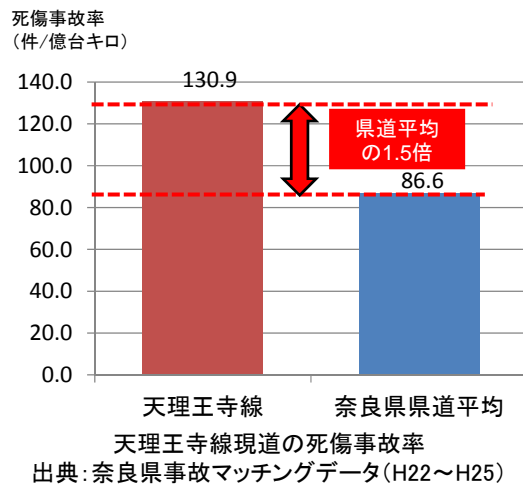
## 2) 事業の整備効果【交通安全性の向上】

- 通学路に指定されている現道では通過交通の流入に伴い通学児童の安全性が低下。  
(死傷事故率が県内の県道平均の1.5倍)
- 当該路線への通過交通の転換により、現道の交通安全性の向上が期待される。

### ◆ 周辺道路における交通事故の発生状況



写真1 通学路に大型車が流入



# 3. 事業の必要性等に関する視点

## 3) 事業の投資効果

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	45億円	5億円	6億円		
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用※1	2.2
	24.3億円		0.2億円		

### ■算出条件等

基準年 : 平成27年度

検討期間 : 50年間

現在価値算出のための: 4%

社会的割引率

交通量の推計時点 : 平成42年度

推計に用いた資料 : 平成17年度

道路交通センサス

適用した費用便益分析: 平成20年11月版

マニュアル

事業費 : 24億円(現在価値)

維持管理費 : 800千円/km

作成主体 : 奈良県

### ■残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	45億円	5億円	6億円		
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用※1	2.4
	22.3億円		0.2億円		

※1 便益・費用については、現在価値化した値である。

※2 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している。

### 3. 事業の必要性等に関する視点

#### 4) 地域における計画等

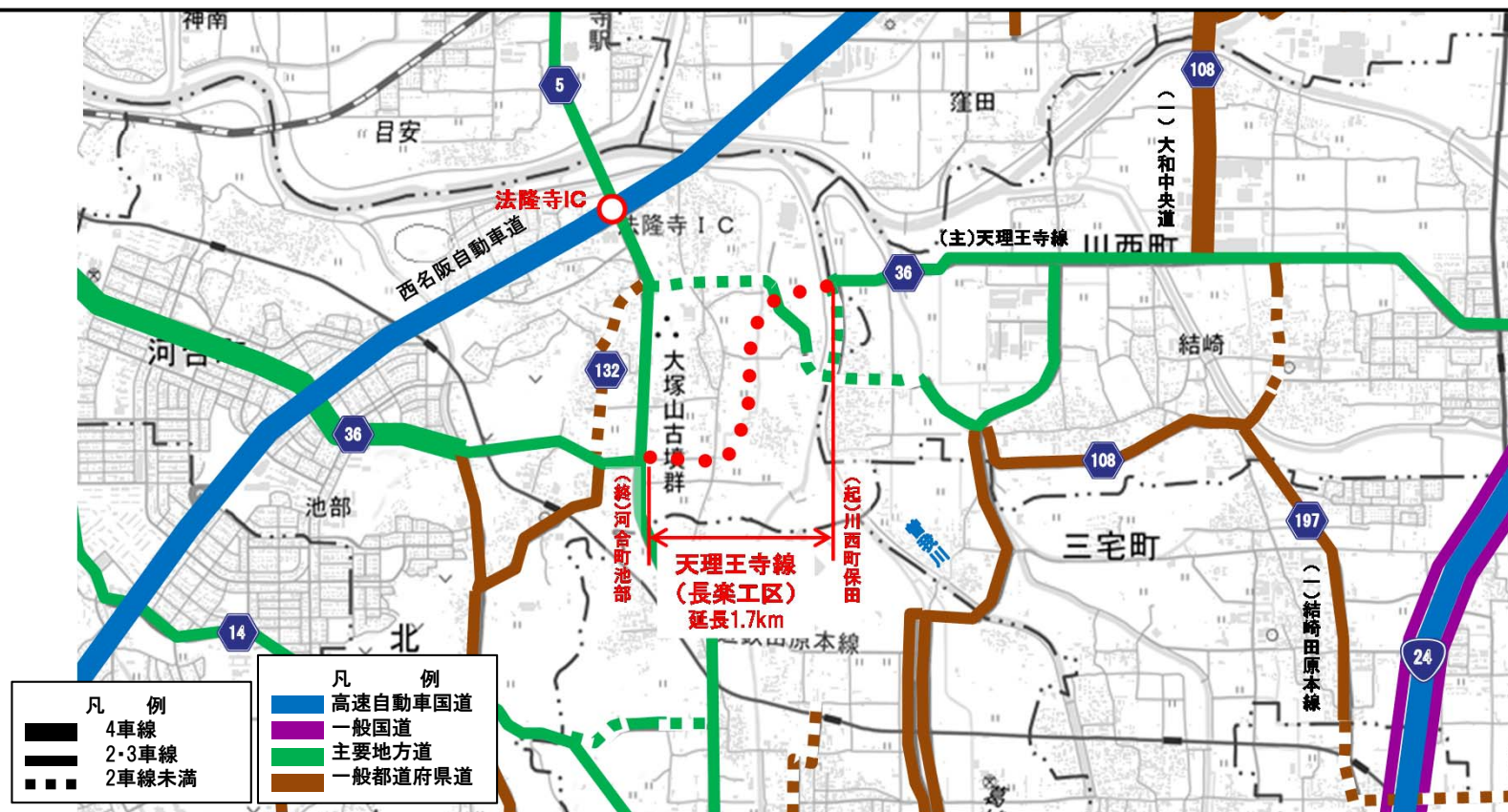
##### ■ 事業の位置付け

- 奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)  
骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として位置づけ  
重点的な整備を推進
- 河合町都市計画マスタープラン(平成21年4月改定)  
町内における地域幹線道路に位置づけられている道路



## 4. 事業の進捗の見込みの視点

- 道路事業の推進について地域住民に概ね了解を得ていることから、平成26年度より用地買収に着手し、平成26年度に2件の買収が完了。  
平成27年度も引き続き本格的に用地交渉を進め、工区東側を中心に順調に用地交渉が進展しており、現時点で新たに4件の買収を完了し、今後も追加買収できる見込み。
- 工区西側については、現在地元と道路整備に伴う水路計画等の調整を進めており、平成28年度より用地買収に着手できる見込み。
- また、部分供用による整備効果の発現を考慮し、平成28年度から曾我川橋梁工事に着手できる見込み。



# 5. コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の良好な公共サービス提供の視点

## ◆コスト縮減に配慮した施工

鋼橋上部工への耐候性鋼材の使用により約33百万円※のコスト縮減が期待される。  
より一層コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進

※耐候性鋼材(標準さび安定化处理)と普通鋼材+塗装を比較し検討年数を50年とした場合の値



## ◆代替案立案等の可能性

現在の計画で事業の進捗に問題がないため、代替案の検討は行わない。

## ◆事業完了後の良好な公共サービス提供

供用開始時に、道路を利用される方々が安全で快適に利用していただけるよう、引き続き関係機関協議等を着実に実施します。

## 6. 対応方針(案)

### 1. 事業の必要性等に関する視点

- 東西方向の骨格幹線道路ネットワークが形成され、地域内を通過する交通の機能分担が期待される。
- 物流効率化、企業立地の促進等が期待される。
- 通過交通の転換により交通安全性の向上が期待される。
- 費用便益費(B/C)は事業全体で2. 2、残事業で2. 4。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- 現在、用地買収や地元と水路計画等の調整を実施中。
- 引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指す。

主要地方道 天理王寺線(長楽工区)は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。  
引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指すことが適切である。

**事業継続**